

令和5年度事業報告

I. 目的

住まいは生活に不可欠な基盤であり、住まいに対して求められる条件は、家族構成、通勤通学地、世帯収入、住まいに関する嗜好等により異なるため、多様化する住宅確保要配慮者に対する手厚い住宅セーフティネットが求められている。

また、鎌倉市では、高齢化が急速に進んでおり、高齢者の居住の安定の確保が喫緊の課題となっており、市民意識調査においては、鎌倉市民のうち過半数の方が住み慣れた地域で住み続けることを希望している。

さらに、新型コロナウイルス感染症や物価高の影響により、職や住まいを失う（恐れのある）方の対応が必要であった。

これらを踏まえ、住宅確保要配慮者向け住宅の供給促進、円滑な入居方策、生活支援等について関係者が協議・連携して行動することで、住宅確保要配慮者の居住の円滑化と生活の安定確保をきめ細かな対応で実現することを目的に、以下の事業を実施した。

II. 令和5年度事業の概要

協議会では、上記目的を達成するため、令和5年度において、次の業務を行った。

1 総会の開催

(1) 定期総会

- ◆開催日時 : 令和5年5月22日(月) 14:00～15:30
- ◆会場 : 旧大船駅周辺整備事務所
- ◆議案 : ・役員を選任
・令和4年度事業報告案、決算案
・令和5年度第1回補正事業計画案、第1回補正予算案

(2) 第1回臨時総会(書面開催)

- ◆書面回答期日 : 令和5年10月2日(月)
- ◆議案 : ・会員の新規入会について

(3) 第2回臨時総会(書面開催)

- ◆書面回答期日 : 令和6年1月29日(月)
- ◆議案 : ・令和5年度第2回補正事業計画案、第2回補正予算案

2 幹事会の開催

(1) 第1回幹事会

- ◆開催日時 : 令和5年5月15日(月) 10:00～11:00
- ◆会場 : 旧大船駅周辺整備事務所
- ◆内容 : ・定期総会の議案について

3 事業の実施

(1) 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への入居支援（相談の実施：委託事業）

昨年度に引き続き、住宅確保要配慮者に対する住宅相談を実施。

相談事業者は公募し、業務委託契約を締結した。

令和元年度に作成した「相談対応マニュアル」を活用しながら、入居後の生活支援活動を含め、会員が連携した相談対応体制を構築しながら実施した。

◆選定事業者：社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

◆相談・入居実績（委託期間：令和5年8月1日～令和6年1月12日）

		内訳						
		高齢	障害	子育て	外国籍	生活困窮	DV被害	その他
相談件数	8	3	3	0	0	2	1	1
完了件数	7	2	2	0	0	3	1	1
うち転居	0	0	0	0	0	0	0	0

※件数には、重複した属性を含む（外国籍で高齢者世帯、生活に困窮している障害者世帯等）

(2) 相談事例検討会の開催

上記委託先に受けた相談内容や会員が日ごろ対応している相談事例を共有し、相談窓口および会員の相談対応スキルの向上を居住支援活動のための情報共有と情報交換を行った。

◆開催概要

	日時	会場	内容
第1回	令和5年7月5日（水） 15：00～17：00	旧大船駅周辺整備事務所 会議室	協議会相談窓口からの相談事例提供、意見交換
第2回	令和5年8月24日（木） 13：30～15：00	旧大船駅周辺整備事務所 会議室	会員からの相談事例提供、意見交換

(3) 外国籍市民向けの生活支援ガイドブック活用講座（委託事業）

令和2年度に作成した、8言語対応（やさしい日本語含む）の外国籍市民向けのガイドブック『鎌倉でくらそう』をテキストにして、市の関係部署や市内の不動産店を対象に、ガイドブックの具体的な活用方法を周知しながら、配慮が必要な住民への理解促進と対応方法のスキルアップを図った。

◆委託先：（NPO）かながわ外国人住まいサポートセンター

◆開催日時：令和5年11月20日（月） 14：00～16：00

◆会場：旧大船駅周辺整備事務所 会議室

◆参加者数：16名

◆内 容

内 容	講 師
外国人のすまいと生活	かながわ外国人すまいサポートセンター 理事長 裊安氏
住まいの多言語ガイドブック活用法	かながわ外国人すまいサポートセンター 英語スタッフ 森川洋子氏

(4) 各種研修会の開催

会員相互の得意分野や不得意分野を把握しながら、地域の居住支援の課題を解決するために、「研修会企画会議」を設置して、会員自ら研修会のアイデアを出し合い企画から当日の運営まで、会員主体で実施した。

今年度は、不動産関係団体には、支部へ直接周知を行うこととし、福祉関係者を対象とした研修会のみ開催した。

①研修会企画会議の実施

◆企画会議の開催日時とテーマ

日 時	会 場	内 容
令和5年6月15日(木) 13:30~15:00	旧大船駅周辺整備事務所	・研修会の開催方針について
令和5年8月24日(木) 15:15~16:45	旧大船駅周辺整備事務所	・福祉関係者向け研修会の内容について ・合同研修会の内容について
令和5年12月6日(水) 17:00~18:00	リモート開催	・合同研修会の内容について

◆会議メンバー（事務局除く）

- ・宅建協会鎌倉支部 ・全日不動産協会湘南支部
- ・インクルージョンネットかながわ ・かながわ外国人すまいサポートセンター
- ・鎌倉市社会福祉協議会 ・鎌倉市地域包括支援センター
- ・鎌倉市基幹相談支援センター ・鎌倉市生活福祉課 ・鎌倉市地域共生課
- ・鎌倉市都市整備総務課

◆不動産関係者への情報提供資料

②福祉関係団体、生活支援団体等向け研修会の開催

幹事会で作成するガイドブックの内容を中心に、住宅確保要配慮者の生活を支援する福祉関係の専門職を対象に、住まい探しの流れや必要事項等の基礎知識を提供した。

◆日 時 : 令和5年10月2日(月) 14:00~16:10

◆会 場 : 鎌倉市福祉センター

◆人 数 : 22名

◆内 容

テーマ	講師・説明者(略称)
さまざまな賃貸住宅の説明	鎌倉市都市整備総務課
民間賃貸住宅の住まい探しの基礎知識	神奈川県宅地建物取引業協会鎌倉支部
家賃債務保証について	高齢者住宅財団
受入れに積極的な不動産店の活躍紹介	不動産辻堂壺番館

③不動産関係者、福祉関係者の合同研修会

不動産店向け研修会および福祉関係者向け研修会を受講した方々を中心に、多職種合同の研修を行い、お互いの理解促進と連携関係構築の第一歩を築くことを目的に開催した。

◆日時：令和6年1月29日（月） 14:00～16:00

◆会場：旧大船駅周辺整備事務所 会議室

◆人数：15名

◆内容

テーマ	講師
精神障害とは？	神奈川県鎌倉保健所
私はこんなふうに暮らしています	障害当事者からのお話
障害がある方も受入れています	不動産辻堂壱番館
グループ意見交換	3～4グループに分かれて意見交換

(5) 福祉関係従事者向け、貸主・不動産店向けガイドブックの改訂

令和2年度に作成した福祉関係者向けガイドブック「借りたくても借りられない人のお部屋探しサポートブック」と貸主・不動産店向けガイドブック「貸主・不動産店も地域の担い手 みんなで解決！つながるブック」が上記研修会等で積極的に配布したため、在庫が不足したことから、市役所窓口の時点修正を行い、改訂版を発行した。

◆発行部数：各200部

(6) HPによる情報提供（運営管理を委託）

協議会の活動内容を、ホームページを通じて市民や関係団体等に周知した。

特に今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で住まいを失う恐れのある方等の支援情報を神奈川県居住支援協議会と情報共有を図りながら、HPで情報提供を行った。

◆参考：鎌倉市居住支援協議会HP

<http://www.machikyo.or.jp/kyo jyushien/kamakura/>

以上

令和5年度決算

[収入の部]

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額(a)	令和5年度 補正後予算額(b)	増減△は減 (a-b)	備考
1 補助金・委託費収入	1,461,055	1,478,000	△ 16,945	
居住支援協議会等活動支援事業	1,461,055	1,478,000	△ 16,945	補助金交付変更決定(1,478,000円)
2 雑収入	3	0	3	預金利息(横浜銀行)
3 借入金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづくり協会から
4 前年度繰越金	10	10	0	
収入合計	1,961,068	1,978,010	△ 16,945	

[支出の部]

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額(a)	令和5年度 補正後予算額(b)	増減△は減 (a-b)	備考
1 人件費	487,275	480,600	6,675	
事務局人件費	487,275	480,600	6,675	臨時総会等の事務処理増のため
2 旅費	3,520	8,000	△ 4,480	
交通費	3,520	8,000	△ 4,480	まち協業務との効率化を図った
3 庁費	970,260	989,400	△ 19,140	
賃金	0	0	0	
謝金	40,000	50,000	△ 10,000	講師の減(行政職員で対応)
需用費	251,400	226,600	24,800	ガイドブック増刷の納期を早めたため 割高となった
役務費	18,860	9,800	9,060	研修会周知にDM発送を強化
委託費	660,000	663,000	△ 3,000	見積の結果
使用料及び賃借料	0	40,000	△ 40,000	無料の市の施設を利用することができたため
4 予備費	0	10	△ 10	支出なし
5 償還金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづくり協会へ
支出合計	1,961,055	1,978,010	△ 16,955	

※令和5年度単年度収支

収入額 (a)の1+2	支出額 (a)の1+2+3+4	単年度収支差額
1,461,058	1,461,055	3

収入額(C)	支出額(D)	収支差額(C)-(D)
1,961,068	1,961,055	13 (=次年度繰越金)